

## 4 - 4 伊豆半島付近の地震活動 (1986年11月～1987年4月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (October, 1986 - April, 1987)

東京大学地震研究所

地震予知移動観測室 (地震移動班)

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

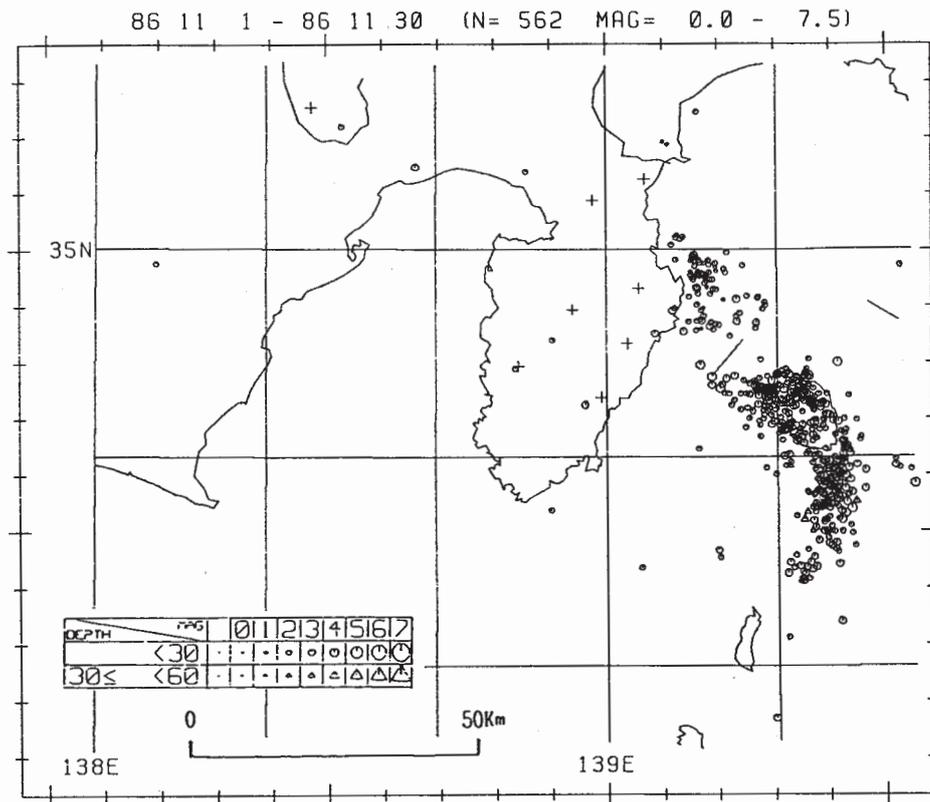
### 1. 1986年11月 (第1図-(a))

1986年4月1～3日, 伊豆大島北端からその沿岸海域, 9月11日～16日, 伊豆大島西岸, 野増沖, 10月10日～16日, 伊豆半島東方沖でそれぞれ顕著な群発活動が発生した。11月15日の伊豆大島が噴火したが21日の噴火にいたるまでの活動は大島の北部と西部に集中している。21日16時15分の割れ目噴火の2時間前の14時頃からカルデラ北部で有感地震を含む群発地震が発生しはじめた。23時頃から大島南東部でも群発地震が発生しはじめた。この活動は22日にかけて新島北東岸沖にまでのびた。22日9時41分, 大島南東沖で噴火にともなった活動の最大地震 (M6.1) が発生した。この地震のメカニズム解は北西方向のP軸をもつ横ずれ型である。大島南東沖から新島北東沖にかけての活動には低周波成分が卓越しCodaが異常に長く継続する地震が多く含まれた。伊豆半島東方沖の活動はこの噴火による活発化はみられない。

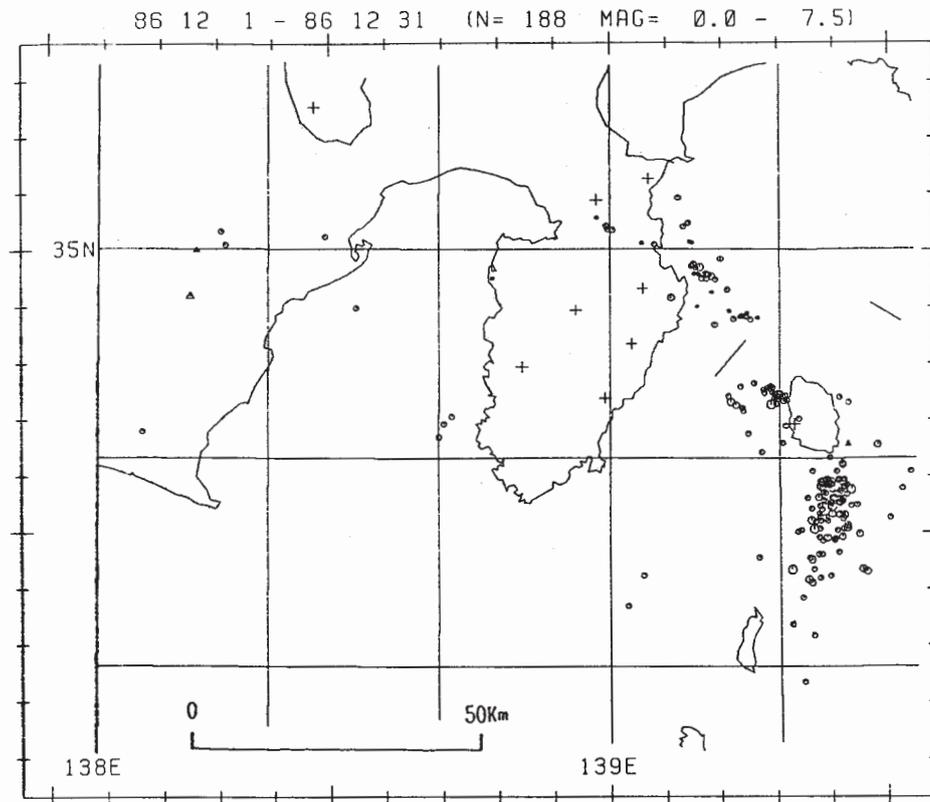
### 2. 1986年12月～1987年4月 (第1図-(b)～(f))

12月以降, 大島島内の活動は減衰したが, 大島南東沖から新島北東沖にかけての活動は3月頃まで続いた。相模湾北部で2月22日16時～20時にM2クラスの地震が続発した。駿河湾西部で1987年3月6日, 17時11分 (M3.1), 23時37分 (M2.1), 23時43分 (M1.6), 3月9日8時48分 (M1.9), 10時8分 (M3.0), 3月17日3時47分 (M1.8), 8時28分 (M1.8), 9時37分 (M1.6) の地震が発生した。4月1日～25日に箱根山付近でM0.7～1.8の群発活動が発生した。4月22日14時21分富士川流域, 富沢でM3.1 (h=19km) の地震が発生し, 地震研究所富士川観測所で有感であった。

第2図に伊豆半島付近の地震活動の南北方向に投影した時空間分布 (1986年11月1日～1987年1月31日) を示す。伊豆大島北部の活動域と伊豆半島東方沖の活動域との間に空白域がみられる。また伊豆大島南岸付近にも小規模な空白域がある。



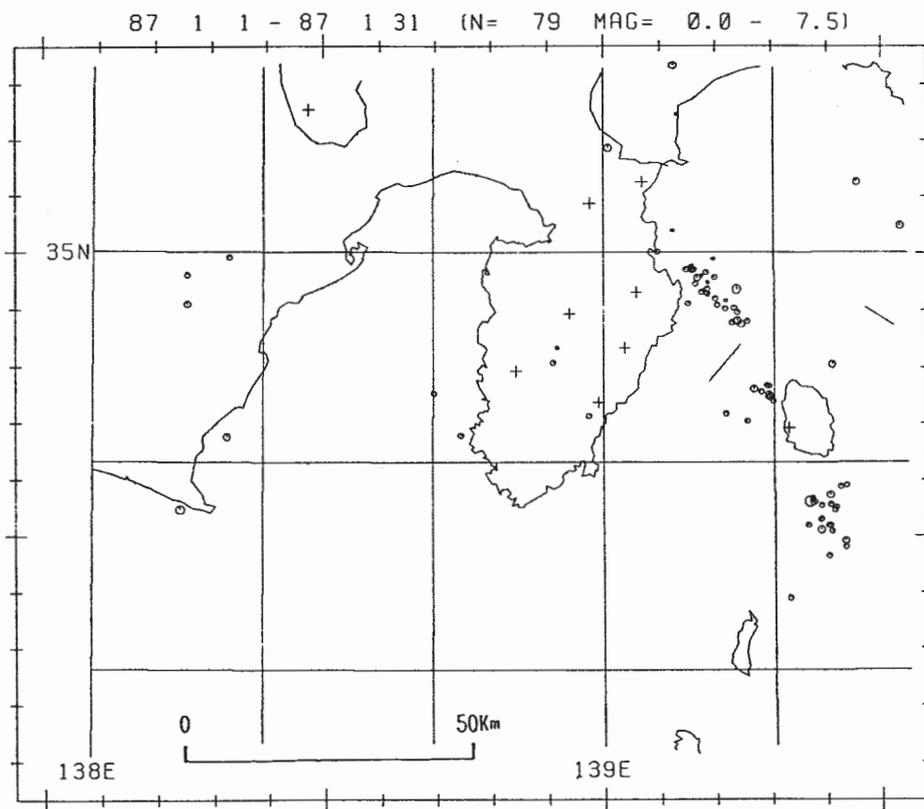
(a)



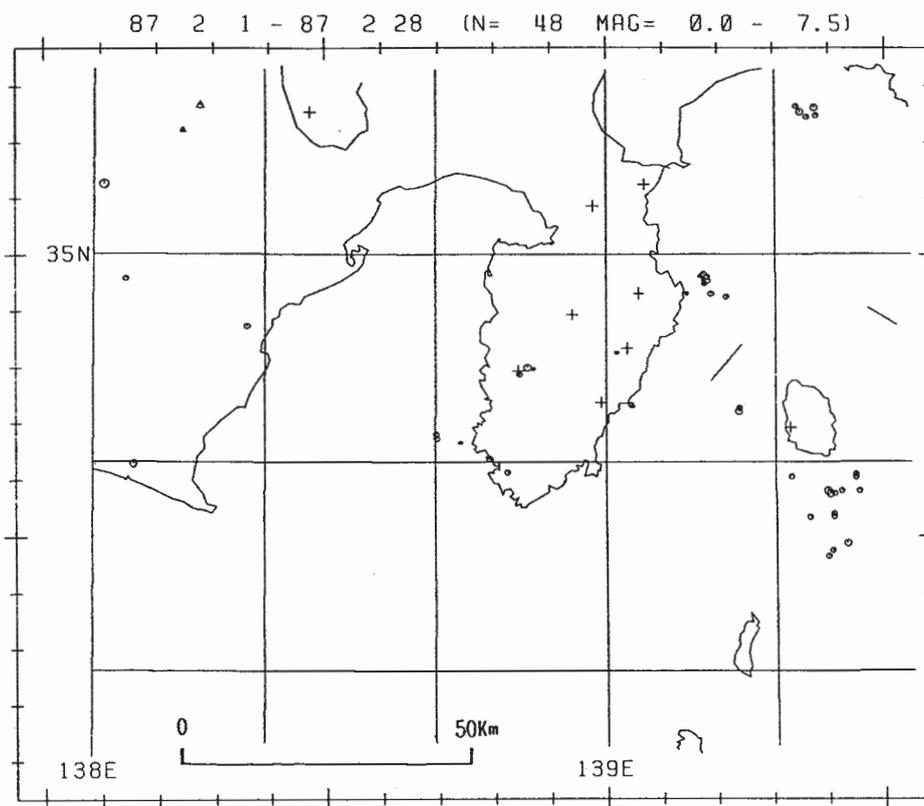
(b)

第1図 (a)~(f) 1986年11月から1987年4月までの各月の震央分布

Fig. 1 (a) - (f) Distribution of epicenters for the period from November, 1986 to April, 1987.

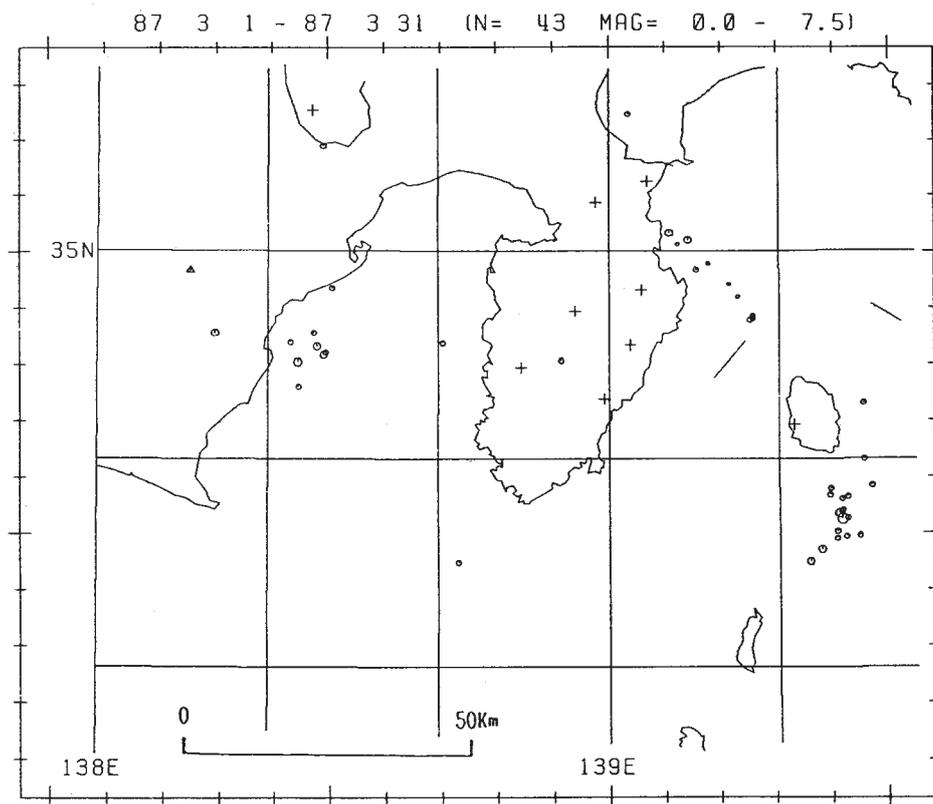


(c)

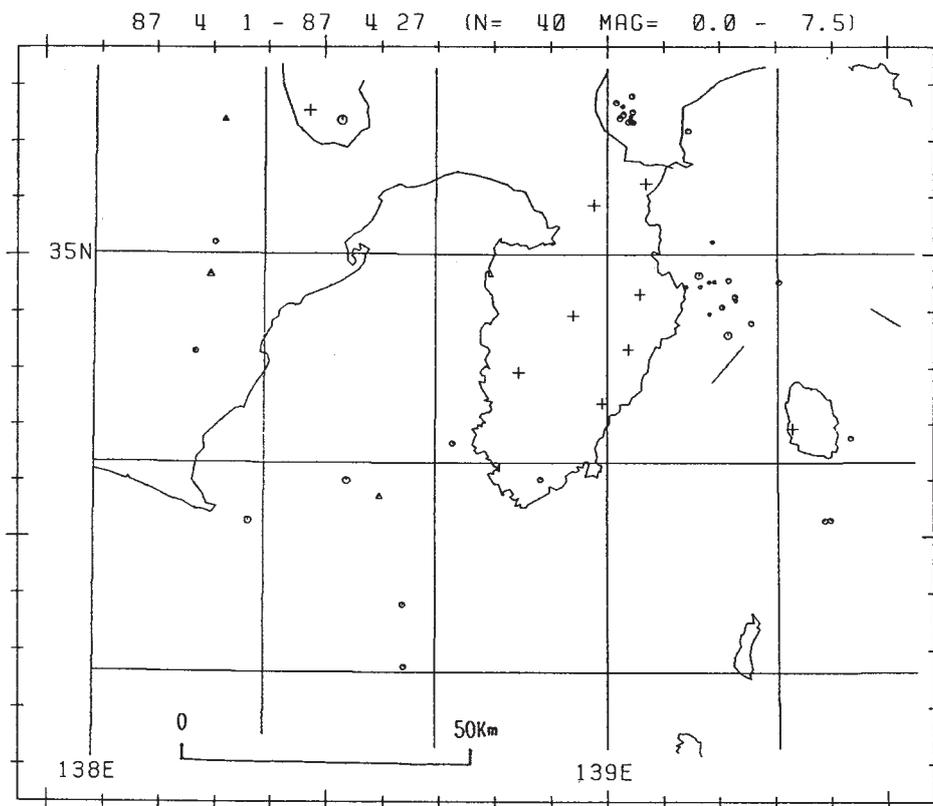


(d)

第1図 つづき  
Fig. 1 (Continued)



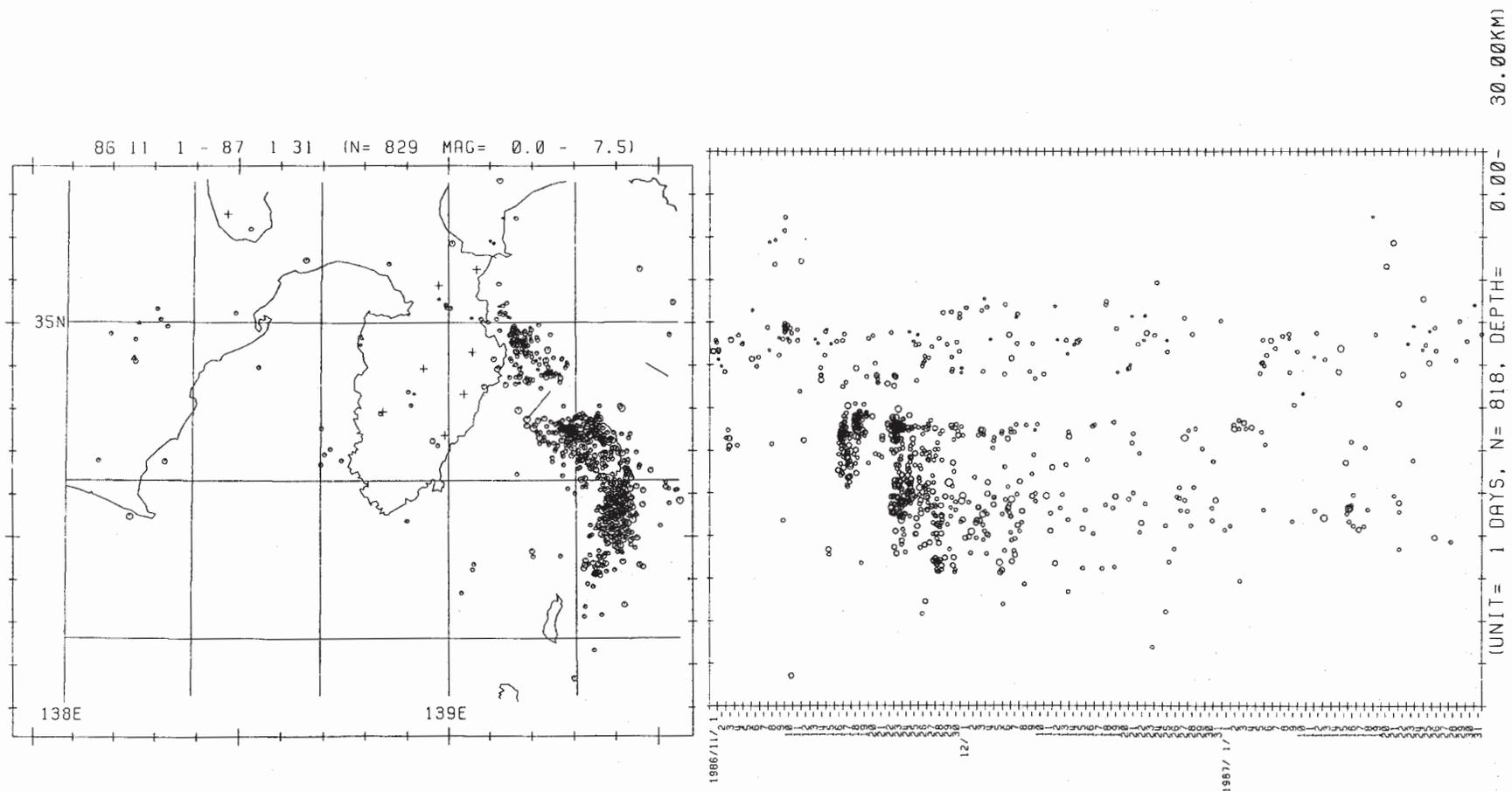
(e)



(f)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)



第2図 1986年11月1日～1987年1月31日の伊豆半島周辺の震央分布と  
南北方向に投影した震央分布の時空系列図

Fig. 2 Epicentral distribution near Izu Peninsula and time-space diagram of seismicity projected along north-south direction for the period from May - October, 1986.